

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度		施設ID
				経度		
(フリガナ)						
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	

道路橋毎の健全性の診断

橋梁諸元

告示に基づく健全性の診断の区分	架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
				上部構造	下部構造	基礎構造

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

技術的な評価結果			定期点検実施年月日		定期点検者			
	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)							()	
上部構造		写真番号		写真番号		写真番号	()	写真番号
下部構造		写真番号		写真番号		写真番号	()	写真番号
上下部接続部		写真番号		写真番号		写真番号	()	写真番号
その他(フェールセーフ)		写真番号		写真番号		写真番号	()	写真番号
その他(伸縮装置)		写真番号		写真番号		写真番号	()	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側		終点側
	<p>概ねこのセル枠内の上に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)て下さい)</p> <p>なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>また、<u>画像のオブジェクト名を「全景写真」として下さい。</u></p>	

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		0		定期点検実施年月日		0		定期点検者		0		0	
構成要素						構成要素							
想定する状況			構成要素の状態			想定する状況			構成要素の状態				
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真01(数字は半角)」として下さい。</p>						<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真02(数字は半角)」として下さい。</p>							
写真番号		1		径間				部材番号					
備考		(適宜、特記事項など)											
構成要素						構成要素							
想定する状況			構成要素の状態			想定する状況			構成要素の状態				
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真03(数字は半角)」として下さい。</p>						<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真04(数字は半角)」として下さい。</p>							
写真番号		3		径間				部材番号					
備考		(適宜、特記事項など)											
写真番号		4		径間				部材番号					
備考		(適宜、特記事項など)											

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		0		定期点検実施年月日		0		定期点検者		0		0	
構成要素						構成要素							
想定する状況		構成要素の状態				想定する状況		構成要素の状態					
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真05(数字は半角)」として下さい。</p>						<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー＆ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真06(数字は半角)」として下さい。</p>							
写真番号		5		径間				部材番号					
備考		(適宜、特記事項など)											
写真番号		6		径間				部材番号					
備考		(適宜、特記事項など)											

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	0	定期点検実施年月日				0	定期点検者	0	0
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)		
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他				
上部構造					—					
下部構造	—			—						
上下部接続部		—	—		—					
その他(フェールセーフ)	—				—					
その他(伸縮装置)		—	—	—	—					

所見	(適宜、所見を記入)
----	------------

点検調書(その1) 橋梁の諸元

ふりがな				ブロック番号			橋梁番号			点検年月日	今回 :			前回 :			
橋梁名				路線	道路種別				路線指定								
所在地					路線名				点検者 (社名)				点検責任者				
架設年		橋長		活荷重・等級				適用示方書	上部工 :			下部工 :			物件1		
上部工形式				幅員	全幅員		地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	歩道幅	地覆幅	中央帯	中央分離帯	交差物件	物件2	
					有効幅員												
下部工形式				調査足場							特記事項				物件4		
				関係機関協議先													
基礎形式				次回点検(予定)			年	特筆すべき劣化環境									
総合診断結果	健全度(橋単位)																

点検調書(その2) 一般図

ふりがな		ブロック番号		橋梁番号		点検年月日	今回		前回	
橋梁名		路線	道路種別		路線指定					
所在地			路線名		点検実施者					

一 般 図	
-------------	--

点検調書(その3) 現地状況写真												※前回写真と同一位置からの撮影を原則とする。											
ふりがな						ブロック番号				橋梁番号				点検年月日		今回				前回			
橋梁名						路線		道路種別						路線指定									
所在地								路線名						点検実施者									
現 況 状 況 写 真	写真番号						メモ				写真番号						メモ						
	写真説明										写真説明												
	写真番号						メモ				写真番号						メモ						
写真説明										写真説明													

点検調書(その4) 橋全体点検結果				総径間数		※ 1径間のみの橋は径間別点検結果は不要																																
ふりがな				ブロック番号		橋梁番号		点検年月日		今回		前回																										
橋梁名				路線		道路種別		路線指定																														
所在地						路線名		点検者(社名)												点検責任者																		
上部工形式				下部工形式		基礎形式																																
変状の種類 対象部材		鋼部材の変状				コンクリートの変状				その他				共通										性能の推定				特定事象等の有無				備考 (補修されていれば、その内容、効果を記入する。)						
		① 防食機能の劣化・腐食	② 亀裂	③ ゆるみ・脱落	④ 破断	⑤ ひびわれ	⑥ 床版ひびわれ	⑦ 剥離・鉄筋露出	⑧ 漏水・遊離石灰	⑨ 抜け落ち	⑪ うき	⑫ 遊間の異常	⑬ 路面の凹凸	⑭ 舗装の異常	⑮ 支承の機能障害	⑯ その他	⑩ 補修・補強材の変状	⑰ 定着部の異常	⑱ 変色・劣化	⑲ 漏水・滞水	⑳ 異常な音・振動	㉑ 異常たわみ	㉒ 変形・欠損	㉓ 土砂詰り	㉔ 沈下・移動・傾斜	㉕ 洗掘	活荷重	地震	豪雨・出水	その他	疲労			塩害	アルカリ骨材反応(ASR)	防食機能の低下	洗掘	その他
上部構造	主桁																																					
	横桁等																																					
	床版																																					
下部構造	橋台																																					
	橋脚																																					
	基礎																																					
上下部接続部	支承																																					
その他	高欄・防護柵																																					
	地覆																																					
	伸縮装置																																					
	舗装																																					
	排水施設																																					
	落橋防止システム																																					
その他																																						
備考																																						

※ 対象部材や対象変状が無い場合は「－」を入力。
入力を行う場合、対策区分は半角英字「A'・B0'・B1'・C1'・C2'・E1'・E2'・S1'・S2'・M'」のいずれかを入力。
性能の推定は、想定される状況に対して「A/B/C」を入力。そもそも状況が想定されない架橋条件等の場合は「－」を入力。
特定事象等の有無の評価については、構造区分毎に「有/無」を入力。そもそも特定事象の発生が想定されない場合は「－」を入力。

点検調書(その4) 径間別点検結果										総径間数																												
ふりがな			ブロック番号			橋梁番号			点検年月日			今回			前回																							
橋梁名			路線			道路種別			路線指定																													
所在地						路線名			点検者(社名)						点検責任者																							
上部工形式						下部工形式			逆T式橋台			基礎形式																										
変状の種類 対象部材		鋼部材の変状		コンクリートの変状							その他				共通							性能の推定				特定事象等の有無					備考 (補修されていれば、その内容、効果を記入する。)							
		① 防食機能の劣化・腐食	② 亀裂	③ ゆるみ・脱落	④ 破断	⑤ ひびわれ	⑥ 床版ひびわれ	⑦ 剥離・鉄筋露出	⑧ 漏水・遊離石灰	⑨ 抜け落ち	⑪ うき	⑫ 遊間の異常	⑬ 路面の凹凸	⑭ 舗装の異常	⑮ 支承の機能障害	⑯ その他	⑩ 補修・補強材の変状	⑰ 定着部の異常	⑱ 変色・劣化	⑲ 漏水・滞水	⑳ 異常な音・振動	㉑ 異常たわみ	㉒ 変形・欠損	㉓ 土砂詰り	㉔ 沈下・移動・傾斜	㉕ 洗掘	活荷重	地震	豪雨・出水	その他			疲労	塩害	アルカリ骨材反応(ASR)	防食機能の低下	洗掘	その他
上部構造	主桁																																					
	横桁等																																					
	床版																																					
下部構造	橋台																																					
	橋脚																																					
	基礎																																					
上下部接続部	支承																																					
その他	高欄・防護柵																																					
	地覆																																					
	伸縮装置																																					
	舗装																																					
	排水施設																																					
	落橋防止システム																																					
その他																																						
備考																																						

※ 対象部材や対象変状が無い場合は「－」を入力。
入力を行う場合、対策区分は半角英字「A'・B0'・B1'・C1'・C2'・E1'・E2'・S1'・S2'・M'」のいずれかを入力。
性能の推定は、想定される状況に対して「A/B/C」を入力。そもそも状況が想定されない架橋条件等の場合は「－」を入力。
特定事象等の有無の評価については、構造区分毎に「有/無」を入力。そもそも特定事象の発生が想定されない場合は「－」を入力。

点検調書(その5) 変状図		径間番号								
ふりがな		ブロック番号		橋梁番号		点検年月日	今回		前回	
橋梁名		路線	道路種別		路線指定					
所在地			路線名		点検実施者					
変 状 図										

点検調書(その6) 変状写真		径間番号										
ふりがな				ブロック番号		橋梁番号		点検年月日	今回		前回	
橋梁名				路線	道路種別			路線指定				
所在地					路線名			点検実施者				
変 状 写 真	写真番号		径間番号		メモ		写真番号		径間番号		メモ	
	部材名				対策区分		部材名				対策区分	
	変状の種類		変状程度				変状の種類		変状程度			
	写真番号		径間番号		メモ		写真番号		径間番号		メモ	
	部材名				対策区分		部材名				対策区分	
	変状の種類		変状程度				変状の種類		変状程度			

[illegible]